

都道府県名：京都府

団体名：西山森林整備推進協議会

地域

西山森林整備推進協議会がご活躍されている京都府長岡京市は、京都盆地の西南部に位置し、総面積19.18km²、人口約8万人のまちです。市の西域に位置する「西山」は、北は愛宕山・嵐山からポンポン山を経て、南の天王山に至る西山連山の一部で、市総面積の約4割を占めており、市街地の背景として代表的な景観となっています。

以前の西山は、良質なヒノキや松茸が取れ、多くの動植物が生息する豊かな山でしたが、社会情勢や生活様式の変化などにより放置された森林が増加し、多様な機能が失われつつありました。

経緯

水源を育み、豊かな恵みをもたらしてくれる西山を保全・育成するため、平成17年6月に森林所有者・地域住民・企業・NPO・大学・行政が集まり「西山森林整備推進協議会」は設立されました。協議会に参画する多様な主体が協働して、人工林・広葉樹の間伐や施業路の開設、市民の関心を高めるための様々な啓発活動に取り組んでいます。

功績内容

- ・協議会で策定した西山森林整備構想に基づく森林整備を進め、これまでに西山全体の約4分の1（200ha）の森林整備を実施され、水源かん養機能の向上に大きく貢献された。
- ・水源を育む西山の環境を守る取り組みを地域に広めるため、森林ボランティア行事やボランティア養成講座、竹林コンサート、小学生の親子対象の体験型環境教育事業「西山ファミリー環境探検隊」を実施するなど、府民の水の関心への喚起に貢献している。

西山森林整備推進協議会の構成

西山森林整備推進協議会

構成：森林所有者、市民団体、企業、学術研究機関、行政等
→西山森林整備構想を基に、事業計画を決定



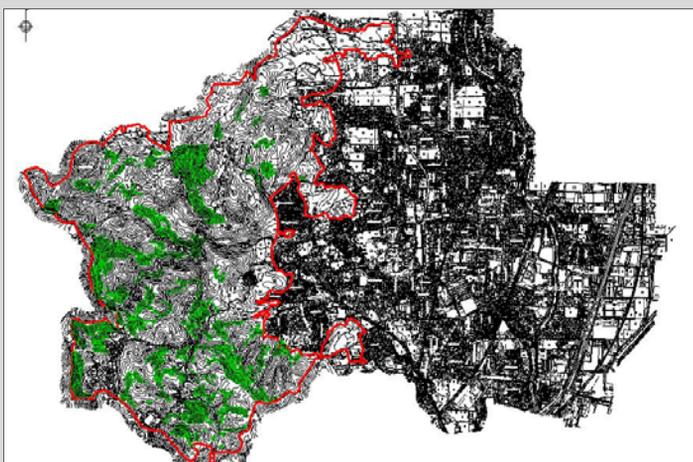
ワーキング会議

構成：森林所有者、市民団体、企業、学術研究機関、行政等
→事業計画の立案、調査・研究



専門部会

（環境教育部会）（竹林部会）（自然環境調査部会）
→必要に応じて、各分野ごとの課題等を専門的に検討



▲長岡京市における西山エリア（赤枠）と森林整備実績エリア（緑色）



▲西山の緑を未来へつなぐための「森林ボランティア行事」



▲整備により日が差し込んだ人工林（左）や広葉樹（右）